

2013年5月2日

盛岡市長 谷藤 裕明 殿

日本共産党盛岡市議会議員団

団 長 庄子春治

幹事長 鈴木礼子

議 員 高橋和夫

議 員 神部伸也

議 員 鈴木 努

平成 25 年度 6 月補正予算編成に関する要望について

日頃の市政運営に敬意を表します。

さて、国の平成 24 年度補正予算で措置された「地域の元気臨時交付金」について各自治体への配分は、国の平成 24 年度補正予算で計上された国庫補助建設事業で、自治体で具体化した事業の地方負担分の「平均 8 割」とされておりません。

この交付金をどのように活用するのかは、6 月補正の必要な課題です。交付金は基本的にはハード事業として活用するものとされていますが、この基金を活用して既計上予算の財源振替を行うことによって一般財源が大幅に浮くことになり、それを活用してハード事業以外の施策を充実させることも可能となるものです。

さらに、盛岡市が有効活用すべき財源としては、平成 24 年度の法人市民税の増収見込み約 11 億円が現時点で未計上となっており、少なくとも約 5 億円以上が今年度で活用が可能となります。また、24 年度の緊急雇用事業の基金については、消化しきれなかった事業費を岩手県に返上しているところであり、事業の具体化によって活用が可能なるものです。緊急雇用創出基金については、国において 24 年度補正、25 年度予算で拡充されており、その有効活用も大きな課題です。

盛岡市の 6 月補正予算編成にあたっては、これらの財源を正確に把握して計上するとともに、その財源を有効に活用して市民要望に応えるよう、下記事項

について提案し要望します。

記

1、住宅リフォーム助成制度を実施すること。

経済対策のための財政支出ということでは、地方において「住宅リフォーム助成制度」は最も経済効果が高い事業の一つであることは明らかなです。県内各市でも継続実施をしており、市民、事業者の間でもこの事業への要望は強いものがあります。ぜひ事業化を復活させるよう要望します。

2、市内小中学校の「雨漏り対策」「屋根の赤さび」対策の補修を一気に行うこと。保育園、その他市保有施設の「長寿命化」対策を充実させること。

3、保育園に、エアコンを増設しすべての保育所に2台以上の設置となるようにすること。

4、設置基準に満たない小規模介護施設へのスプリンクラー設置への補助を行うこと。

5、町内会管理の街路灯のLED化については、全額市負担によるLED化を行うための一定の予算を確保すること。また、現行の補助制度については補助率と予算枠を大幅に拡大すること。

6、保育所の待機児童解消へ、当初予算で見送った私立保育所の定員増員計画に対する助成を行うこと。

7、小中学校への「読書活動推進員」の配置を増やし、すべての学校に配置すること。

8、緊急雇用創出事業基金の活用については、市への配分枠を活用しきるよう事業化を図ること。

9、木質バイオマス利用促進、林業振興のため、国の「森林整備加速化・林業再生基金」の活用策を検討・具体化すること。

10、就学援助費に「PTA会費」「生徒会費」「クラブ活動費」を加えること。

11、全消防団員に対して雨具の支給を行うこと。

12、乳幼児医療費助成事業の対象年齢を拡大すること。

以上